

GR Garage 浦和美園

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

プロフェッショナルシリーズ第8戦

クラブマンシリーズ第7戦

TOYOTA GAZOO Racing Yaris Cup

関東シリーズ第3戦

11月23日(土)～24日(日)

モビリティリゾートもてぎ(栃木県茂木町)



GR Garage 浦和美園 CAMP レポート

プロフェッショナルシリーズ第8戦に吉田広樹選手と渡辺圭一選手が出場。土曜に予選、日曜に決勝というスケジュールです。土曜日の天候は晴れ。予選は11時35分から行われ、吉田選手は2分12秒035をマークし、11位につけます。一方の渡辺選手は31位となる2分13秒390をマーク。共にコースレコードを更新するタイムですが、低い路面温度にマッチした他社製タイヤのユーザーが予選上位を独占しました。日曜日の天候は晴れ。決勝(10周)は9時30分から行われ、吉田選手は11番グリッドから鋭いスタートを切ります。しかし、位置取りに苦戦し、1周目を14位で終了。序盤の混戦が落ち着くと、2周目に13位にポジションを上げます。その後のペースは良好で、7周目に11位までポジションアップ。それでも10位の選手まではギャップが大きく、このままの順位でチェッカーと思われましたが、最終周に上位選手がスロウダウン。10位でチェッカーを受け、ランキング9位で今シーズンを終わりました。一方の渡辺選手は31番グリッドからスタートし、1周目を33位で終了。ペースは良好でしたが、4周目に後続に押し出されてスピアウトします。再スタートをきりましたが、接触の影響でマシンバランスが変化。本来のペースが維持できません。それでも渡辺選手はクルマを労わりながら周回。終盤、31位に浮上し、チェッカーを受けました。

クラブマンシリーズ第7戦には大森和也選手が出場。土曜の予選はA、B組に分かれて行われ、大森選手はB組トップとなる2分16秒609をマークします。総合結果により、決勝は2番グリッドからのスタートが決定。初優勝に期待がかかります。決勝(10周)は8時26分より行われ、大森選手は2位をキープして1コーナーへ進入。そのまま1周目を終えます。2周目以降、大森選手を含む5位までがトップ集団を形成。順位変動なく周回が続きます。しかし、5周目に大森選手の後方でアクシデントが発生。後方とのギャップが生まれ、大森選手は果敢にトップを攻め立てます。トップ争いは終盤まで続きますが、追い抜くことはできず2位チェッカー。GR86/BRZ Cup 初年度ながら、ランキング3位でシーズンを終わりました。

併催で行われたYaris Cup 関東シリーズ第3戦には細淵美央選手が出場。予選は日曜にA、B組に分かれて行われ、細淵選手は昨季の予選タイムから2秒以上更新する2分33秒296をマークします。A組の17位につけ、総合結果により決勝は34位からのスタートになりました。決勝(8周)は13時11分から。細淵選手は鋭いスタートを決め、32位で1周目を終えます。しかし、3周目に後続に押し出されてスピアウト。再スタートをきりますが、44位までポジションを落とします。その後は本来のペースを取り戻して猛追。終盤に43位にポジションを上げてチェッカーを受けました。終了後、上位選手にペナルティが科されたため、最終結果は42位でした。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

#160 GR Garage 浦和美園 BS GR86

吉田広樹選手

決勝 10位 予選 11位 (2分12秒035)

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

#8 JCS GR 浦和美園 GR86

渡辺圭一選手

決勝 31位 予選 31位 (2分13秒390)

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

#522 GR Garage 浦和美園 IDI GR86

大森和也選手 決勝 2位

予選 B組 1位 (2分16秒607)

Yaris Cup

#523 GR Garage 浦和美園 CAMP Yaris

細淵美央選手 決勝 42位

予選 A組 17位 (2分33秒296)

DRIVERS VOICE

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

吉田広樹選手

決勝は序盤の位置取りが悪く、ポジションを落としましたが、後半のアドバンテージを活かして 10 位で終わりました。今回はブリヂストンタイヤの強さを発揮しにくい気温だったと思います。結果に浮き沈みのあるシーズンでしたが、チーム体制が変わり、テストや部品に限りがある中では最善を尽くしたつもりです。GR Garage 熊本中央のメンバーが参加する新しいチャレンジでは、レースの時間管理やセッティングの精度を経験してもらい、見た目の結果以上の成果を残せたと思います。今後もこのような取り組みを広げていきたいと思っています。

渡辺圭一選手

GR86 でもてぎを走るのは初めてでしたが、課題が多い中でもベストを尽くせた予選だったと思います。決勝は接触を避けるために無理に順位を守ることはしないように走行していましたが、結果的に強引な追い越しで接触し、スピニングアウトする形になりました。決勝中のペースに目標をもって取り組むつもりだったので、それが叶わず、今シーズンで最も悔しいレースになりました。今年はスポット参戦ながら、レースウィーク以外にもレーシングカートでコストを抑えながら腕を磨いてきました。今後もレベルアップできるよう、努めます。

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

大森和也選手

予選は今シーズン最高の渾身のアタックができました。決勝は毎回緊張しますが、7 戦目にして慣れたのか、落ち着いてスタートが切れました。トップ争いではミスを誘うように仕掛けましたが、相手も初優勝がかかっていたので最後まで必死に粘られました。それでも富士戦以来の表彰台で、トータルでも今年一番の内容だったと思います。ヤリスと比べて調整できる場所が多くあるので、セッティングに頭を悩ませ、FR の動きに苦戦した一年でしたがランキングは 3 位に上がったので、来年に向けて弾みがついたと思います。

Yaris Cup

細淵美央選手

予選では今までコーチに先導してもらわないと出せなかったタイムも単独で出せたので、とても満足です。決勝のスタートもバッチリ決まったので、接触されて順位を落としたことは非常に悔しいです。ただ、シーズンを通してどのサーキットでも著しい成長をアピールできたと思います。今シーズンは前戦のクラッシュや、今回の接触など、レースの結果を求めたことで起きたアクシデントも経験しましたし、大人になってこんなに緊張や興奮を味わうとは思いませんでした。たくさんのサポートをいただきありがとうございました。



PARTNERS



有限会社アイ・ディ・アイ



株式会社カーグラス・JP



K-one



埼玉スリーボンド株式会社



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社

トヨタ モビリティパーツ株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ブリヂストン



丸和工業株式会社



株式会社ミノルインターナショナル



Mechanix Wear LLC



株式会社リキテック



レカロ株式会社

SPECIAL THANKS

